

UPS : 無停電電源装置

Uninterruptible Power Supply

弊社はAPC (American Power Conversion) 社製UPSをお奨めしております。ご購入は直接お願いいたします。詳しい製品カタログは <http://www.apc.co.jp> でお確かめください

ご注意：日本国内で使用されるUPSのモデルには J がついておりますが、USA (115V) とは異なり、Trans が100V仕様となっております。

モデルの選定：

モデル、容量などの選定は現在お使いのあるいは、これからUPSに接続される装置の全容量（負荷）、停電時のバックアップ保持時間がどのくらい必要かなどをご確認ください。現在お使いの装置の使用電力量を実測してのアドバイスも可能です。

インストレーション：設置と設定

UPSの設置および設定作業は有償となります。

ソフトウェア：PowerChute

各オペレーティングシステムにより異なりますので、お尋ねください。

保証とサポート：

製品保証はメーカー保証、サポートはメーカーと直接契約されるか、弊社オンサイト保証契約を選択出来ます（弊社保守契約規約による条件）。

ご注意：UPSには2種類の電力供給方法があります。瞬停は、はるか山中の変電所への落雷などでも起こります。

1. 常商用電源を使用し、停電時のみバッテリー・インバータ経由で電力供給/**瞬停非対応**

バッテリーの寿命が長いですが、瞬停によっては反応しないで切り替わらない可能性がある。瞬停の場合、ほとんどの装置内の電源仕様にばらつきがあり、電源トリップしたりしなかったりする機器がある。

APC社製はこの方法を採用しております。

2. 常時インバータ経由で供給する/**瞬停対応**

バッテリーの寿命が非常に短くコスト高となりますが、瞬停時にも何ら問題を生じません。

サージプロテクタ機能：

落雷によるスパイクや落雷、大型動力機器のオフや切り替え時による一瞬異常な高電圧を吸収する装置を**内蔵**しています。UPSのほか、今ではtabletapなどにも組み込まれているものもありますが、それに使用されている素子はバリスタ/Variable Resister すなわち、ある電圧以上で抵抗値が少なくなり、高電圧を逃がすことで、機器を保護する。

しかし、耐圧以上の高圧で燃えることもあります。家庭やビルの壁のSurge電圧を減少させることは可能です。

かなりのPCや装置、機器などの電源が壊れたり、燃えたりすることがないのは、Surgeのpulseに追従できていないためでしょう。一部の重電設備を稼働している工場などでは、電圧を解放したときに大きなSurge発生があります。

お問い合わせ先：**株式会社ワークマンシップ/WORKMANSHIP Co., Ltd.** <http://www.workmanship.com>

本社営業 sales@workmanship.com 及び 広島メンテナンス・サービス・センタ hirmssc@workmanship.com

〒731-5133 広島市佐伯区旭園3-33 清水ビル3階 TEL (082) 924-4044 / FAX (082) 924-4144

東京メンテナンス・サービス・センタ tokmsc@workmanship.com

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-1 共同ビル（新岩本町）3F TEL (03) 5687-5910 / FAX (03) 5687-5965